

登壇者

山本麻紀子

アサダワタル

湯治場に 当事場を つくる

司会

高橋潤

コメンテーター

米田量

企画

吉野正哲

トークイベント

公開会議

日時

2026.4.24 Fri 19:00~21:00

入場料

¥1500

会場

共同書庫

申し込み



聖戒記ほか「湯治録」句・鈴木久
治「写」大正23(1910)国立国
会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2391376> (参
照 2026-04-03)

初めにダジャレがあった

ワタルは「当事場」という言葉をつくった
マキコは鉄輪温泉という「湯治場」と出会った
どちらも「とうじば」と読む
そこから企画が芽を出した

マキコとワタルは一遍上人の研究をしていた偶然だった

一遍上人は貧乏だった粗末な衣服に身を包み全国を歩いて回った

マキコは一遍上人の研究を進めるための助成金に応募して見事に落ちた

昔の人たちは、きび団子一つで命がけの冒険の仲間になった

きび団子みたいな企画書を共同で共同書庫で書けないか

共同書庫は企画室でもある

マサアキはその事を共同書庫のソウとソウに相談をした

そうしましよと二人は親切に言った

概要

トークイベント & 公開企画会議
「湯治場に当事場をつくる」
アサダワタル × 山本麻紀子

2026年4月24日 (fri) @ 共同書庫
入場料 ¥1,500 (高校生以下無料)
予約制 (定員 20名)

18:00 開場
(& 公開リハーサル
「朗読劇としてのトークイベント (1時間)」)
19:00 開演
21:00 終演 (最長 22:00 まで)

申し込み→ フォームもしくは 090-8844-7459(吉原)まで



ステートメント

文化活動家のアサダワタルさんが、近著『当事場をつくる：ケアと表現が交わる場所』を執筆する中で、悩みながら編み出した「当事場」という造語と、アーティストの山本麻紀子さんが、「崇仁すくすくセンター (挿し木プロジェクト)」の活動を通して出会った鉄輪温泉という「湯治場」。この二つの「とうじば」が出会う場が「湯治場に当事場をつくる」です。今回わたしたちは共同書庫に、出会いと出会いが出会う場をつくりまします。一遍上人が遺した不思議な縁が、時代を超えて結縁し、発芽することを期待しています。

プロフィール

アサダワタル

場をつくる人。アーティスト・文筆家。音や声、言葉を手がかりに、人と人が関わり直す場を表現してきた。ケア、コミュニティ、教育、アートの現場を横断しながら、「住み開き」「コミュニティ難民」「当事場」などの概念を提唱。近畿大学文芸学部准教授。

山本麻紀子

京都市出身。京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻構想設計修了。「落とし物」(ロンドン)・「巨人」(水戸)・「植物」(東九条と崇仁)の世界を追いかけたら「一遍上人」に出会いました。崇仁すくすくセンター実行委員会の代表をしています。

司会
高橋潤 米田量

企画
吉野正哲

会場
共同書庫

京都市中京区西ノ京右馬寮町 8-35